

令和7年度 「第2回助産師研修会」

女性の一生におけるアドバンス助産師の支援

日 時：令和7年9月6日（土） 9：30～12：00

場 所：鹿児島県看護協会 看護研修会館 2階視聴覚室

目 的：女性の一生を通して、アドバンス助産師の専門性発揮について学ぶことができる

対 象：アドバンス助産師、助産師、産科看護師、産科管理者、助産師学生

参加者：会場6名 Zoom17名

テーマ講演 「人生100年時代の女性の病気とアドバンス助産師の健康支援」

1) 鹿児島市立病院 産婦人科科長 中村俊昭氏

(内容)・婦人科腫瘍について

- ・OC、LEP、HRT について
- ・子宮内膜症や子宮奇形について
- ・HPV ワクチン接種について など



2) 医療法人産育会 堀病院 看護部長 布施明美氏

(内容)・更年期とは

- ・更年期の特徴と症状
- ・更年期への支援
- ・女性の健康支援
- ・プレコンセプションケアの大切さ



近年、男女とも初婚年齢の高齢化が進むにつれて高年齢出産の増加やそれに伴うハイリスク妊産婦の増加、出生数の減少などがみられる。また現代女性は妊娠・出産の機会が減少し、月経回数の増加や思春期から成熟期にかけての女性ホルモンの分泌が多いことによる病気や症状が増加している。



今回の講義を通して婦人科についての知識を深めると

同時に更年期外来の必要性、重要性を学ぶことができた。分娩が減少傾向にあるいま、私たち助産師は施設での妊娠・出産に関わる支援だけでなく、性教育、婦人科疾患の看護、更年期外来など多岐にわたる役割が必要になってきていると感じた。